議会だより しょうわ

2026.10.20
No.211

山梨県昭和町議会
https://www.town.showa.yamanashi.jp/site/gikai/







表題写真

昭和町議会初！ こども議会開催

●表題（しょうわ）は
「西条小学校６年２組 大勝莉愛（おおかつ りあ）さん」の直筆です。

② 議会ってなに？
こども議会 質問と講評
⑦ 一般質問 ここが聞きたい！
⑭ 臨時会で決まったこと
⑮ 定例会で決まったこと
⑯ 委員会質疑
⑲ 令和7年度歳入歳出決算を認定
⑳ 決算審査
㉒ 追跡 あの質問はどうなった？
㉒ モニターさんからの意見集
㉓ 議会クイズ
㉓ 議会だよりへの感想

議会ってなに？

議会の仕組みってなに？

町長と議会（議長）、どっちが何を決めるの？

「町長が全部決めているのでは？」➡ **実は町長だけでは決められない。**

1 町長（執行機関）が動かすもの

町議会が決定した予算や条例に基づいて、具体的に町の事業を進める。

- **具体的な事業・政策の実施**
  道路・公共施設の整備、福祉サービス、教育など
- **予算案、条例案の作成・提出**
  何をするかの計画を作成し、議会に提出する。
- **行政事務の執行**
  役場の職員を指揮・監督し、事務処理を行う。

2 町議会（議決機関）が決めるもの

町議会は、町民の意思を町政に反映させるため、町議会を構成して町民生活の様々な課題についてきめ細かく審議し、どう処理するべきかを決めている。

- **条例（ルール）の制定・改廃**：町民の生活に関するルール
- **予算の決定**：町の税金を何に使うか
- **決算の認定**：使ったお金が正しかったかチェック
- **契約・財産の管理**：大きな工事の契約や、財産の取得・処分

二元代表制ってなに？

地方議会では、住民が町長と議員をそれぞれ直接選び、町長が行政を執行し、議会がそれを審議・議決・監視する仕組みになっています。これを二元代表制といいます。
議会議員にとって大切なのは「町長と対立すること」ではなく、「町民の代表として、町長の行政執行を適切にチェックし、必要な政策を議論すること」です。

一般質問って意味あるの？

「質問して終わりなら意味ないのでは？」と思うかもしれないが一般質問には大切な役割がある。
一般質問は『町民の声を届ける場』議員は、地域住民の声や困りごとをもとに質問する。

例えば
・通学路が危ない　・公園の遊具が古い
・子育て支援を充実してほしい　など
➡ **議会で取り上げることで、町としての考え方や今後の対応が明らかになる。**

『質問だけ』で終わらないことも……

一般質問をきっかけに
・制度が改善された　・調査が始まった
・予算化につながった　というケースもある。
➡ **すぐに変わらなくても、「課題を可視化する」ことに意味がある。**

こども議会
質問と講評
初となる「こども議会」を開催　7月23日

この夏休み、町議会を身近に感じてもらうために、町議会議場で小中学生を対象にした、こども議会を開きました。
「自分の声が地域に届く」「まちづくりに参加できる」という経験をしてもらい、町長や教育長からも、子どもの提案に対して、「できることから具現化できるよう努力する」と温かいメッセージをいただきました。



小学5年 高橋（たかはし） 美心貴（みさき）さん

質問　いじめへの対策は
不登校児童生徒への支援、不登校人数や保健室登校者数、オンライン授業の利用、相談体制、学校以外の学びの場、不登校やいじめへの対策について知りたい。

講評：保坂議員
不登校の子どもたちが安心して過ごせる環境づくりの大切さを伝える質問だった。子どもの視点に立った提案は、より良い学校づくりにつながる貴重な意見となるため、この意見を議会としても考えていきたい。

参加してみて
議会に出るときは、すごくきんちょうしたけれど、はじめての経験だからがんばって議会に参加できた。終わった後は、参加できて楽しかったと思った。次があったら、「やろうかな」と思えた。自由研究で議会について、よりくわしく知ることができました。ありがとうございました。



小学6年 小笠原（おがさわら） 慎仁（しんじ）さん

質問　体育館にエアコンを
猛暑で体育授業や集会に支障が出ているため、児童生徒が快適に活動できるよう学校体育館へのエアコン設置を検討できないか。

講評：長田議員
暑さ対策という身近な課題に着目し、後輩たちの学習環境向上を願う提案だった。自らの経験をもとにした意見は、多くの人の共感を得る内容だった。

参加してみて
こども議会で意見を発表し、緊張したけど、貴重な経験をさせてもらいました。
提案に対し、議会ではすでに検討してもらえている事が分かり嬉しかったです。今日はありがとうございました。次回もまた参加したいです。



小学6年 沼野（ぬまの） 由奈（ゆうな）さん

質問　学校のトイレを洋式に
学校の和式トイレは利用が少なく、我慢する児童もいるため、学校トイレの洋式化を進められないか。

講評：今村議員
学校トイレの洋式化を求める提案は、子どもたちが安心して快適に過ごせる環境づくりの大切さを伝えるものだった。議会も教育環境の改善に向け取り組んでいく。

参加してみて
テレビで見るような議場で発言するのは緊張しましたが、議員さん方から優しく教わったり、議長席に座らせてもらい、特別な経験になりました。学校がより良くなるような意見を友達と考え、伝えることができ嬉しかったです。



中学1年 村田 美玖（むらた みく）さん

質問① 急な雨で雨宿りできる場所の確保

自転車通学中の急な雨や暑い日に、安全に雨宿りや休憩ができる場所を設置できないか。

講評：野沢議員 急な豪雨や猛暑から子どもたちを守る大切な提案。課題はあるが、通学路の安全対策について町と共に検討していく。

質問② 地域の憩いの場の提供

子どもや大人が交流しながら勉強やイベントに参加できる居場所や、公民館等の空調設備のある施設を開放できないか。

講評：野沢議員 子どもが安心して学び交流できる居場所づくりの提案。公共施設の活用や地域との連携を含め、実現に向け町へ提案していく。

参加してみて

今回はこども議会に参加でき、とても貴重な経験ができました。
発表の時は緊張しましたが、大人と子どもが一緒に集まり楽しく過ごせたら、地域の人と交流がもてると思い「地域の憩いの場の提供」をお願いしたいという私の声を届けたい気持ちで頑張りました。
町の議員さんたちには私たち小中学生の提案を聞いてもらい、政策の答えを考えてくれたことに感謝します。
自分もまちづくりの一員であることを実感できました。
ありがとうございました。



中学1年 藤巻（ふじまき） 璃子（りこ）さん

質問① 交通安全の取り組みは

中学生や高校生、高齢者、自動車利用者などが交通ルールやマナーを学び直せる機会を設ける予定や取り組みはあるか。

講評：植竹議員 交通安全の取り組みについて、自転車通学で感じた危険性に着目した提案を受け、交通安全は地域全体の課題として捉え、安全なまちづくりを議会も後押ししていく。

質問② 図書館の蔵書

昭和町図書館は他市町村より蔵書が少ないと感じるため、蔵書の増冊や図書館機能の充実計画はあるか。

講評：植竹議員 図書館の蔵書について図書館の充実を願う意見を受け、利用者ニーズに応じた蔵書整備と、誰もが学び親しめる図書環境づくりに努めていく。

参加してみて

今回は、子ども議会に参加させていただき、ありがとうございました。
昭和町が真剣に私たちの意見を聞いてくださり、とても楽しい時間にすることができました。
私たちの意見が、今後の昭和町の未来の役に立てば嬉しいです。
またこのような機会があれば、ぜひ参加したいと思います。



中学1年 依田（よだ） 結愛（ゆあ）さん

質問① 無料で勉強できる場所

放課後や休日に無料で利用できる学習スペースを増やし、子どもたちが気軽に勉強できる環境づくりを進められないか。

講評：金丸議員 学習の機会を広げる視点から、子どもたちが安心して学べる環境の大切さを提起した質問だった。行政や議会も学習支援の充実に向け取り組みを進めていく必要性を改めて認識した。

質問② ポイ捨ての防止

町の美化やポイ捨て防止のため、公園や人通りの多い場所へのゴミ箱設置と、現在行っている対策について知りたい。

講評：金丸議員 ごみ箱設置という具体的な提案を通じて、きれいなまちづくりに必要な環境整備と、一人ひとりがごみを持ち帰る意識の大切さについて考える機会となる質問だった。

質問③ 子供向けの今後の計画

今後、子どもたちがより暮らしやすくなるために、町ではどのような施策や取り組みを予定しているのか。

講評：金丸議員 将来の昭和町を見据え、子どもたちの声を町づくりに生かす重要性を示した質問であり、子ども自身が地域の担い手として参画する意識につながる提案だった。

参加してみて

こども議会でゴミ箱の設置や勉強場所の確保を提案したとき、町のえらい方々と直接お話でき、私たちの意見をまっすぐ受け止めて今後の取り組みに活かそうと考えてもらえたことがとても嬉しく、貴重な経験になりました。



中学1年 高橋（たかはし） 裕貴（ゆうき）さん

質問① いじめの対策は

各学校のいじめ件数や内容、対策を行ってもいじめが発生した原因、防止策の改善状況、生徒同士の話し合いの機会などについて知りたい。

講評：保坂議員 いじめについて、いじめのない安心な学校づくりに向け、相談体制や心の健康観察などの取組を進め、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりの大切さを伝えた。

質問① 税金の徴収率

少子高齢化が進む中で財源確保が重要になるため、昭和町では税金がどの程度適切に納付されているのか、その状況を知りたい。

講評：保坂議員 税金の徴収について、税金が学校や公園など暮らしを支えるために使われている。議会としても納税の大切さと町づくりへの理解・協力を呼びかけたいとおもう。

参加してみて

こども議会を通して僕は、改めてこのような仕事が僕たちを支えてくれているということを実感しました。僕はあの場に立って緊張しました。ですが、あそこで勇気を出して訴えることができました。勇気を出せる場を作ってもらい本当に感謝しています。



中学1年 長沼（ながぬま） 結那（ゆうな）さん

参加してみて

私はこども議会を通して、自分の意見が大好きな昭和町をよりよくするためのきっかけになることを知りました。また、自分の考えを整理して文章にまとめる力や、相手に分かりやすく伝える力、自信を持って発言する力を身につけることができました。中学一年生でこのような貴重な経験ができたことをとてもうれしく思います。今回学んだことを学校生活や将来に生かし、これからもいろいろなことに挑戦して、自分自身を成長させていきたいです。

質問① 公園のトイレ環境は

天白神社の公園などで、トイレの汚れや老朽化が気になるため、公園利用者が気持ちよく利用できるよう、より清潔で使いやすいトイレ環境に改善できないか。

講評：今澤議員 公園のトイレ環境について、公園利用者の視点からトイレの老朽化や清潔さに着目した優れた提案だった。行政の維持管理と利用者のマナーの両面から、快適な公園づくりを考える大切な機会となった。

質問② テスト期間中の学習スペースの確保

図書館の自習スペースがテスト期間中に不足しているため、自習スペースの拡充や、期間限定の学習スペース設置は可能か。

講評：今澤議員 テスト期間中の自習スペースの確保、学習環境の充実を求める前向きな提案だった。現状や施設の制約を踏まえつつ、今後の子育て支援施設との連携など、学びや居場所づくりへの期待が高まる内容だった。

質問③ 市川三郷線の歩道の整備

市川三郷線には歩道が整備されていない区間があり危険を感じるため、安全確保のために歩道整備を進められないか。

講評：今澤議員 市川三郷線の歩道整備について、通学時の危険箇所に着目し、安全な町づくりを考えた意義ある提案である。県や地権者との協力が必要な課題だが、子どもたちの率直な声として大変参考になった。



こども議会を終えて



施策を問う ここが聞きたい

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

※質問内容の詳細をQRコードで公開しています。正式には 12 月更新の HP 会議録をご覧ください。



井口 正 議員

Q 酷暑を想定した避難所運営の在り方は

近年、猛暑が常態化する中、災害時の避難所では熱中症対策や停電時の電力確保が重要となっている。本町では小学校体育館への空調設備整備が予定されているが、酷暑と停電が重なった場合に避難所をどのように運営していく考えなのか。

再質問

公共施設の非常用電源の確保や自立運転はどうなっているのか。

A 空調・停電対策と地域の連携により、避難者の生命と健康を守る運営を進める

町長

町では、指定避難所への空調設備の整備を進めるとともに、停電時に備え発電機や蓄電池、スポットクーラーなどを備蓄している。今後は、自主防災会との連携を図り、避難所開設手順や防災計画、災害対策マニュアルを随時見直し、ハード・ソフト両面から酷暑時にも避難者の生命と健康を守る避難所運営に努める。

企画財政課長

庁舎等は、業務継続に必要な非常用電源を確保しており、今後、防災の観点から現状を再確認する。学校は空調の更新時に自立式などの電源確保策を検討する。

井口 正 議員

Q 災害断水時の生活用水確保と井戸の活用を

近年、全国各地で大規模災害が発生する中、断水が長期化すると、飲料水だけでなく、トイレや手洗い、清掃などに使う生活用水が不足し、避難所運営に大きな影響が生じる。町では個人所有の井戸について協定を結んでいるが、農業用井戸の活用も含め、災害時の生活用水を確保する対策をさらに進める考えがあるのか。

再質問

個人所有の井戸の具体的な運用方法、応急体制の整備はどのように進められているのか。

A 個人所有や農業用井戸などの活用方法を調査し、断水への備えを強化する

町長

町では、家庭での飲料水の備蓄を呼びかけるほか、町として飲料水の備蓄と、耐震性貯水槽を整備している。生活用水は、災害時に利用できる個人所有の井戸を 26 カ所登録し、地域と連携して活用する体制を整えている。今後は、町が管理する農業用井戸の活用方法も調査し、断水時の備えを強化していく。

企画財政課長

災害時には消防団に情報提供し、区の実情に応じた運用を行うが、生活用水のためであり、災害状況を確認したうえで開放することになる。



植竹 由美 議員

Q 町民が行政と共にまちづくりを進める仕組みは

町では、審議会やアンケート、パブリックコメントなどを通じて町民の意見の把握に努めている。地域の生活様式が多様化する中、計画や政策を作り始める段階から、幅広い町民が参加する仕組みが必要だと考える。現在、計画や政策の初期段階で町民の意見を取り入れるため、どのような取組を行っているか。また今後、政策形成の初期段階から、町民参加の仕組みを充実させる考えはあるのか。

再質問

政策形成の初期段階から幅広い町民の声を取り入れるため、公募や無作為抽出による町民参加を導入する考えはあるか。



A 事業の性質に応じて幅広い町民の声を聞き、多様な意見を生かした運営を進めていく

町長

アンケートや説明会、ワークショップなどを通じ、町民の意見を各事業に反映している。町民参加の時期や方法は、政策形成の初期段階に限定せず、事業の性質や進捗に応じて判断する。今後も審議会やパブリックコメント、「一人の声」など多様な機会を活用し、幅広い世代や立場の声を聞き、対話を重視した町政運営に取り組んでいく。

総務課長

他自治体の取組を参考にしながら、事業や計画の内容に応じた町民参加のあり方を研究する。



石原 高明 議員

Q 災害時の無人航空機の操縦資格取得養成制度及び運用を

町には災害時の情報収集に活用できるドローンがあるが、操縦資格を持つ職員は１名に限られている。大規模災害では道路の寸断などにより、協定先からの支援がすぐに受けられない可能性もある。被害状況を迅速に把握するため、操縦できる職員を増やし、町が自らドローンを活用できる体制を整える考えはあるのか。

A 災害時のドローン活用に向け、操縦資格取得を支援する制度づくりを進める

町長

災害時のドローンは、被害状況の迅速な把握や復旧・復興など幅広い活用が期待されている。町では民間会社との協定に加え、職員１名が操縦資格を持っている。今後は、国の指針や町の地理的な特徴を踏まえ、防災体制を強化するため、職員等のドローン操縦資格の取得に向けた制度づくりを進める。

石原 高明 議員

Q スマート農業技術による農業振興への取り組みは

町では農家の高齢化や担い手不足が進み、農薬や肥料の散布などが大きな負担となっている。農業用ドローンは作業の効率化や負担軽減に有効だが、個人での導入は費用面などで難しい。町でドローンを購入して貸し出すほか、操作技術の習得費用を助成し、運用を支援する体制を整える考えはあるか。

A 農業用ドローンの効果と課題を検証、町に適した支援策を検討する

町長

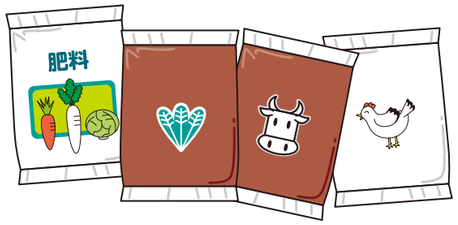
農業用ドローンは、農薬散布などの負担軽減や作業の効率化が期待できる。一方、購入・維持費や安全管理などの課題があり、利用見込みや費用対効果の検証が必要となる。今後は、他自治体の事例や国・県の補助制度を調査し、農業者や JA、民間事業者との役割分担を踏まえ、町に適した支援策を検討する。



石原 高明 議員

Q 農業用資材価格高騰対策の補助率と上限額の拡大を

円安や国際情勢の影響で、肥料や農薬などの農業用資材が値上がりし、農家の経営を圧迫している。町では資材購入費や生分解性マルチへの補助を行っているが、価格上昇が続き、収益だけで負担を吸収することは難しい。農家の経営規模や負担の増加に応じ、補助率や上限額を引き上げる考えはあるか。



A 資材価格や農家への影響を見極め、補助拡大を含む経営支援策を検討していく

町長

農業用資材の価格高騰による農家の負担を軽減するため、町では国の交付金終了後も農業用資材価格高騰対策支援補助金を継続し、生分解性マルチへの補助も実施している。補助率や上限額の引き上げは、資材価格の動きや農業者への影響、利用状況などを踏まえて検討し、今後も農家の声を聞きながら経営安定に必要な支援策を検討していく。



野沢 敬夫 議員

Q 平常時から災害時まで活用できる押原公園の屋根付き多目的スペース整備を

nanaho ユナイテッドパーク（押原公園）は、町民の憩いやスポーツ、イベントなど幅広く利用されているが、雨や猛暑の影響を受けやすい。ステージ側広場に屋根を設ければ、休憩やイベントに活用でき、災害時には待機場所や救護活動などにも役立つ。天候に左右されず多世代が安心して利用できる屋根付きの多目的スペースを整備する考えはあるか。



A 老朽化や被災リスクを総合的に評価して計画に反映し、安全性と持続性の確保に努める

町長

nanaho ユナイテッドパーク（押原公園）は、スポーツや福祉、防災の拠点として幅広く利用されている。ステージ側広場への屋根設置は、雨や暑さへの対応、イベントや災害時の活用などの効果が期待できる。一方、人工芝の張り替えなど他の検討課題もあるため、利用者の要望やイベントの開催状況を見ながら、防災面の観点からも屋根施設の必要性や方策について調査・検討していく。



今村　力 議員

Q 大規模災害に備え、被災リスクの高い下水道施設の耐震化の考えは

大規模地震や豪雨が相次ぐ中、町では強い揺れに加え、液状化による下水道管の浮上・破損やマンホールの隆起なども想定される。下水道施設の老朽化対策だけでなく、災害時の被害リスクも評価し、危険度の高い箇所を把握した上で、優先的に耐震化や更新を進めるリスクベースのストックマネジメントを導入する考えはあるか。



液状化現象

A 老朽化や被災リスクを総合的に評価して計画に反映し、安全性と持続性の確保に努める

町長

町では、地震や液状化による下水道施設の被害が町民生活や衛生環境に影響するため、強靱化に向けた備えが必要と認識している。今後は、施設の重要度や老朽化の状況、地震・液状化による影響や被災リスクを総合的に評価し、その考え方を計画に反映するとともに、安全性と持続性を重視した機能確保に努める。

野沢 敬夫 議員

Q 入札制度の公平性・透明性・競争性を高める仕組みの整備は

町の入札では、参加者が一者のみとなる案件や、予定価格に近い金額で落札される案件が見られる。税金を有効に使うためには、複数の事業者が参加しやすい競争環境が重要である。一者応札となった原因を検証し、参加条件の見直しや必要に応じた再公告など、入札の公平性・透明性・競争性を高める仕組みを整える考えはあるか。

再質問

入札検討委員会の構成メンバーは副町長を委員長として庁内関係課長・係長で構成しているが、入札における公平性・透明性を確保するためにも学識経験者等外部の者を構成メンバーに加える考えはないのか。

A 発注条件の見直しや再公告も含め、競争性のある入札制度の運用を進める

町長

一者応札は、参加条件だけでなく、人手不足や資材価格、事業者の受注状況など複数の要因が影響していると捉えている。町では、入札検討委員会で原因や参加条件を検証し、結果を次回以降の発注に反映している。条件の見直しで複数の事業者の参加が見込める場合は、再公告も含めて対応し、競争性の確保につなげていく。

総務課長

外部の有識者を加えることに関しては、より客観的な視点を取り入れ、公平性・透明性を高めるという観点から、今後、他自治体における参画状況・運営方法など参考にし、委員会の在り方について研究していく。





河住 保茂 議員

Q 不登校を生まない学校に求められる姿勢は

不登校を防ぐには、子ども同士が互いを尊重し、安心して過ごせる学校・教室づくりが重要である。そのためには、教員が一人一人を温かく受け止め、学ぶ楽しさや達成感を得られる環境を整える必要がある。子どもたちが「学校が好き」と思える環境をつくるため、学校や教員にどのような姿勢や取組が求められると考えるか。



A 「学校が好き」と思える環境を整え、不登校の未然防止に取り組む

教育長

不登校を防ぐには、子どもが安心して過ごせる環境と、教職員との信頼関係づくりが重要である。町では、子どもの小さな変化を早期に把握し、一人一人に寄り添った支援を行うとともに、教職員が子どもと向き合える環境づくりを進めている。今後も「学校が好き」「学校に行きたい」と思える学校づくりを進め、不登校の未然防止に取り組む。



保坂 貴子 議員

Q 風土伝承館・杉浦醫院の保存・活用に向けた計画と今後の整備は

風土伝承館・杉浦醫院は、地方病克服の歴史や先人の努力を伝える国の登録有形文化財であり、次世代へ継承すべき貴重な施設である。現在、町では保存・活用に向けた計画づくりを進めているが、文化財としての価値を守りながら、今後どのような方針で計画を策定し、施設を整備・活用していくのか。



風土伝承館　杉浦醫院

A 文化財としての価値を守り、地域文化と町民交流の拠点として整備を進める

教育長

風土伝承館・杉浦醫院は、令和 13 年度の利用開始に向け、保存活用計画の策定や設計、改修工事を順次進める。主屋と屋敷蔵は、地域文化の発信や町民のコミュニティスペースとして活用する方針である。文化財としての外観や内装の特徴を残しながら耐震性を高め、国・県や専門家と連携して保存と活用を進めていく。



永井 敏男 議員

Q 昭和玉穂中央通り線の全線開通に向けた町の考えは

昭和玉穂中央通り線は、町の南北を結び、リニア中央新幹線山梨県駅へのアクセスや周辺地域との交流を支える重要な道路である。第 1 工区は用地取得が約 9 割まで進み、リニア開業に向けた県内工事も進んでいる。町のさらなる発展につなげるため、第 1 工区の完成時期と、第 2 工区を含む全線開通をどのように考えているか。

A 山梨県駅へのアクセス向上のため、全線整備を目指す

町長

リニア中央新幹線山梨県駅は 2031 年 12 月の完成が予定されている。町では山梨県駅へのアクセス向上を図るため、昭和玉穂中央通り線の整備を進めており、第 1 工区は令和 10 年度末の完成を目指している。その後、第 2 工区へ移行し、全線の整備完了を目指す。

9 月定例会の閉会にあたり

昭和町は、町制施行以来55年間、人口が増え続けています。
これは大変ありがたいことですが、人口が増えている今だからこそ、将来を考えておくことが大切です。
「元気な今だからこそ、次の世代のために何をなすべきか。」
このことを議会として常に考え、町民生活を第一に、議論を重ねていきたいと思います。
議会にはさまざまな考え方があります。時には意見がぶつかることもあります。
しかし、「昭和町をもっと良くしたい」という思いは一つです。
これからも大いに議論し、その議論を町民の皆様の暮らしにつなげていただきたいと思います。
また、今定例会では、塩澤町長から、継続を力とし、責任を持って町民の負託に応えていくとの所信が表明されました。執行部の皆様には、議会で出された意見を今後の町政に生かしていただくことをお願い申し上げます。



議長　海野　豊



今澤 幸広 議員

Q 市街化調整区域における最適な汚水処理の在り方は

市街化調整区域内では住宅が増えている地域がある一方、公共下水道整備区域外では、各戸で合併処理浄化槽を設置または、自費で公共下水道に接続して汚水を処理している。今後の住宅増加も見据え、下水道の延伸だけでなく、町が整備・管理する浄化槽やコミュニティプラントも含め、地域の状況に応じた最も合理的な汚水処理方法を検討する考えはあるか。

再質問

公共下水道整備区域外では、各戸が合併処理浄化槽の設置・維持管理費を負担しており、区域内外で生活排水処理に係る費用負担の内容や方法が異なっている。公共下水道の恩恵を受ける住民と浄化槽を設置しなければならない住民とで格差が生じている。

国・県の支援制度や県内市町村の実施状況を踏まえ、公平性確保のため補助金制度などの支援を設ける考えはあるか。

A 公共下水道事業計画に基づく整備を優先し、未計画区域に最適な汚水処理方法を調査研究する

町長

町では、市街化調整区域で住宅が増えている地域があることを把握しているが、まずは計画区域内の公共下水道整備を着実かつ迅速に進め、未計画区域では各戸が合併処理浄化槽を設置することにより対応している。今後は、住宅の立地状況や土地利用、整備の効率性などを踏まえ、未計画区域に最適な汚水処理方法を調査研究していく。

下水道課長

区域外の住民と下水道利用者では負担の内容や方法が異なると認識しているが、整備・維持管理や費用負担の仕組みが異なるため、個々の負担額だけで公平性を一律に判断することは難しい。今後は下水道整備を進めつつ、住宅立地などを見極め、計画の見直しを含め、地域に適した汚水処理方法を調査研究する。



長田 信夫 議員

Q 危険な町道交差点へ交通事故を防ぐ指導停止線の設置を



町内の生活道路には、一時停止の規制がなく、道幅が狭いなど出会い頭の事故が起きやすい交差点が多くある。停止義務はないものの、運転者に一時停止や安全確認を促す「指導停止線」は事故防止に役立つと考える。歩行者や自転車、自動車の安全を確保するため、危険な町道の交差点に積極的に設置する考えはあるか。

A 関係機関と連携し、危険箇所への指導停止線設置など交通安全対策を進める

町長

指導停止線は停止義務はないものの、交差点で安全確認を促す効果があり、町でも交通安全対策の一つと考えており、実績もある。設置は、警察などと協議し、事故の発生状況や道路の利用状況、交差点の形状などを踏まえて判断する。今後も関係機関と連携し、指導停止線を含めた効果的な交通安全対策を進めていく。

8月臨時会で決まったこと



令和8年第2回臨時会は、8月12日に開催しました。
契約関係3案件、補正予算1案件の計4案件を審議しました。

案件名		審議結果
議案第20号	●昭和町立西条小学校体育館空調設置及び断熱性確保工事請負契約締結の件	可決
議案第21号	●昭和町立常永小学校体育館空調設置及び断熱性確保工事請負契約締結の件	可決
議案第22号	●昭和町立押原小学校体育館空調設置工事請負契約締結の件	可決
議案第23号	●令和8年度昭和町一般会計補正予算（第2号）について	※可決

※議案第23号の賛否

井口　正 議員	○	野沢敬夫 議員	×	小林耐三 議員	○	永井敏男 議員	○
今村　力 議員	○	金丸富一 議員	×	保坂貴子 議員	×	泉　敏弘 議員	○
石原高明 議員	○	植竹由美 議員	○	長田信夫 議員	×	河住保茂 議員	×
今澤幸広 議員	○						

海野　豊 議長は採決に加わっていません。

議案第23号に対する賛成討論・反対討論（反対者から交互に討論します。）

原案に反対

・野沢敬夫議員

「令和8年度物価高騰に伴う住民税非課税世帯支援事業」について、物価高騰の影響を受けている生活困窮者を支援するという事業の趣旨そのものに反対するものではないが、今回の制度設計については、公平性や町の一般財源の有効な活用という観点から、十分に検討されたものなのか疑問がある。

山梨県が予定している令和8年度のLPガス支援において、住民税非課税世帯に1万円を支給するから、昭和町も同額の1万円を支給するのでは十分な根拠とは言えない。また、「住民税非課税世帯」についても、世帯人数による不公平が生じる。

1人世帯に1万円を支給すれば1人当たり1万円だが、4人世帯では1人当たり2,500円で、同じ非課税世帯であっても、世帯人数によって実質的な支援額には大きな差が生じる。

今回の支援の必要性を否定するものではないが、現状の制度設計には問題があり、十分な検討がなされたとは考えられないため、本議案に反対し、修正案を提出する。

原案に賛成

・永井敏男議員

食料品や日用品、光熱水費など生活に欠かせない物価が高止まりしており、特に非課税世帯の家計には大きな影響を及ぼしている。食料品や光熱水費など生活に必要不可欠な支出への支援を必要とする世帯へ、できる限り早く給付を行うことが重要であると考える。

今回の制度設計は、迅速性と事務の確実性を踏まえた実効性の高い方法であると考え、原案に賛成する。

修正案に賛成（原案に反対）

・河住保茂議員

生活困窮者を支援するという事業の趣旨には賛成だが、給付方法については、より公平で、より効果的な制度に見直す必要があると考え、修正案に賛成する。

住民税非課税世帯には、1人暮らしの世帯もあれば、2人、3人、4人と暮らす世帯もある。単に早く配ることだけを優先するのではなく、誰に、いくら、どの単位で支給することが最も公平なのかを議論することが、議会の役割であると考える。

以上の理由から、私は現行の「1世帯一律1万円」ではなく、「非課税世帯の構成員一人当たり5,000円」とする修正案に賛成する。

原案に賛成

・泉敬弘議員

物価高騰が長期化し、家計への負担は依然として大きい状況にある。本年３月に全世帯及び全町民を対象とした給付を実施し、さらに高齢者やひとり親世帯への追加支援も行った。今回の事業は、物価高騰の影響を、より受けやすい住民税非課税世帯に対象を絞り、重点的に支援しようとするものであり、１世帯１万円という金額についても、食料品や光熱水費など、日々の生活に必要な支援の一部を支えるものとして、一定の効果が期待できる。

必要性、対象及び給付額についても妥当なものと判断し、原案に賛成する。

9月定例会で決まったこと



令和8年第3回定例会は、9月3日から9月17日まで15日間の会期で開催しました。
専決処分2案件、条例改正5案件、決算審査6案件、補正予算5案件、その他5案件、人事案件1案件の計24案件を審議しました。

詳細は12月末更新のHPの会議録をご覧ください。

案件名		審議結果
専決処分	●和解及び損害賠償の額を定めることについて ●令和8年度昭和町一般会計補正予算（第3号）について	承認
条例改正	●昭和町カスタマーハラスメント防止条例制定の件 ●昭和町特別職等の委員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例中改正の件 ●昭和町議会議員及び昭和町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例中改正の件 ●昭和町使用料徴収条例中改正の件 ●昭和町議会基本条例中改正の件	可決
決算審査	●令和7年度昭和町一般会計歳入歳出決算の認定を求める件（総額112億5,881万円） ●令和7年度昭和町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件（総額17億3,676万円） ●令和7年度昭和町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求める件（総額2億9,403万円） ●令和7年度昭和町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求める件（総額11億1,723万円） ●令和7年度昭和町介護サービス特別会計歳入歳出決算の認定を求める件（総額3,054万円） ●令和7年度昭和町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求める件（収益的支出7億1,032万円・資本的支出5億1,143万円）	認定
補正予算	●令和8年度昭和町一般会計補正予算（第4号）について（5億2,945万円（基金への繰入れを含む）増額し、総額を115億9,333万円とするもの） ●令和8年度昭和町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について（862万円増額し、総額を18億4,132万円とするもの） ●令和8年度昭和町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について（105万円増額し、総額を3億145万円とするもの） ●令和8年度昭和町介護保険特別会計補正予算（第2号）について（3,209万円増額し、総額を12億6,258万円とするもの） ●令和8年度昭和町介護サービス特別会計補正予算（第1号）について（歳入科目の変更のみで、総額に変更なし）	可決
その他	●令和7年度昭和町下水道事業会計利益剰余金の処分について ●中央市の一部地域に昭和町公共下水道を利用させることに関する協議の件 ●甲斐市の一部地域に昭和町公共下水道を利用させることに関する協議の件 ●2ndGIGA端末更改に伴う機器購入契約締結の件 ●子どもたちのゆたかな学びと、学校の働き方改革を実現するための教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	可決
人事案件	●昭和町監査委員の選任について 鷹野勝己氏（紙漉阿原）	同意

（全て全会一致）

9月定例会委員会質疑



質問・回答は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

産業厚生常任委員会 今澤委員長

生活道路・センターライン表示と速度規制

小林委員　センターラインの有無がはっきりしない生活道路について、どのような対策をとるのか。

泉委員　センターライン表示のない生活道路に路面表示で『30』と明示するなどの対策を行ってはどうか。

伊藤建設課長　現地確認を行い、交通安全担当と連携して「センターラインの有無」と標識との整合性を検証する。必要があれば速度表示や標識整備を含めた具体的対策を実施する。

野沢議員　町道7号線において、センターラインを消し、歩道を広めにとれば生活道路になるのではないか。通学路として使用される道でもあるため、早急の対応が必要ではないのか。

伊藤建設課長　町道7号線において、すでにセンターラインが入っているため、時速60キロでの走行が認められる道路である。しかし、1部区間通学路として指定されているため、安全面の対応として、地区役員、学校関係者、関係部署と協議を重ねて検討していく。



町道7号線

内水氾濫による浸水リスクの把握

今村議員　本町における内水氾濫による浸水リスクの把握について説明と対応を求める。具体的には、本町が令和6年4月に改定した洪水ハザードマップに加え、内水氾濫を想定したハザードマップを作成または公表する考えはあるか。

伊藤建設課長　内水氾濫は全国各地で発生しており、集中豪雨や線状降水帯によって内水が発生することがあるため、内水氾濫を可視化する必要があると考えているが、必要性を精査し検討する。



nanahoユナイテッドパーク押原の修繕

海野議員　新たな財源が確保されたので、日よけの色あせや遊具の老朽化など、子どもたちが安全に遊べない状態になっている箇所について、当局は管理者に対して指導・修繕を促すべきではないか、その点について見解と対応方針は。

清水都市整備課長　修繕を含む管理は指定管理者が実施しており、町でも担当者が現地で修繕箇所の確認を行っている。管理者とは毎月調整会議を開き、修繕要請をし、情報共有や意見箱への対応も管理者と連携して行っている。今後も緊急性を考慮して、確認しながら修繕を進めていきたいと考えている。

育休取得時の放課後児童クラブ退室の取り扱い状況

野沢議員　育児休業取得時の放課後児童クラブの扱いについて、「労働等」の要件に関し、国より保護者の育児休業期間も含め、柔軟な対応をしてよいとの通知が示された。育休期間中の放課後児童クラブの利用が全国的に約6割の自治体で対象とされる状況を踏まえ、昭和町の方針と今後の対応は。

塩谷子育て支援課長　育児休業取得中は、原則として退室する要件を設けているが、これまでも保護者の心身の状況や家庭環境を確認する中で、継続利用を希望する場合は柔軟に対応してきた実績がある。来年度からは、育児休業取得を理由とする退室要件を廃止する方向で進めている。

共同所有の農業用車の管理補助

永井委員　新規に農業を始める若い人や、小規模生産者が機械化を進める必要があるが、農事組合や町の仕組みで1台または2台のトラクターを共同利用できる体制をつくり、その購入に対して町が補助金を出すことは可能か。

阿部環境経済課長　過去に5世帯ほどが、共同で使うことがあったと聞いているが、使用時期が重なり運用がうまくいかなかったようだ。このことを踏まえ今後検討したい。

泉委員　組合のような組織を作り、組合内で作付け計画を立て、使用が重ならないよう運用ルールを整備したうえで、トラクター購入に対して補助金を出すことは可能か。

阿部環境経済課長　県のスマート農業関連事業に該当するかどうかを確認するとともに、県の補助は大規模圃場や認定農業者、複数の個人が集まって組合を作る単位を対象にしており、個人単独への補助は想定されていないと認識している。三人程度の小規模な共同では補助対象になるか不明なため、その点も含めて県の制度を確認しながら検討したい。



総務教育常任委員会 今村委員長

常永小学校の和式トイレから洋式トイレへの改修

海野委員　先日のこども議会においても、こども議員から要望があったように、常永小学校における和式トイレの洋式化への改修について教育委員会ではどのように考えているのか。

内藤学校教育課長　令和5年度の文部科学省の小中学校におけるトイレの洋式化の状況の集計によると、昭和町は76.3%で全国・県平均を上回っている。和式トイレについては、洋式が利用できない子どももいるため一部残す必要があるが、各学校へ調査を行い、必要に応じて整備していく。

4校合同引き渡し訓練の結果

保坂委員　町内4校で実施された避難所開設と保護者への児童引き渡しの合同訓練について、実施後に行ったアンケート調査の検証結果は。また、その検証から導かれた今後の課題や解決策について具体的に説明を求む。

内藤学校教育課長　引き渡し訓練後のアンケートでの意見を反映した「令和8年度臨機応変しなやか引き取り指針」を町ホームページに掲載した。兄弟姉妹の引き取り順や実施時期などの課題が挙げられたため、引き取りは「上級学年からを基本」とし、実施時期などについては来年度に向けて検討していく。

図書館施設の拡充

井口議員　開館から蔵書充実に努めているが、蔵書の増加で書架が館内の多くを占め、利用者のための空間が狭くなっていると感じる。近年の図書館は本を借りるだけでなく、人が集い過ごす場へ役割を広げつつある。そこで二点伺う。まず、くつろげる空間や飲食可能なスペースの設置、授乳スペース等や暑さ対策を含めた施設の充実について、現時点でどのような検討が行われているのか。また、増加する書架について、今後どのように蔵書や書庫を管理していく考えか。

花形生涯学習課長　図書館施設の拡充については、現状の建物のスペースに限りがあるため、現時点では新しいスペースを設けることは難しい状況であ

（委員：対象委員会所属議員　議員：傍聴議員）

（委員：対象委員会所属議員　議員：傍聴議員）

る。また、蔵書については書架の配置を工夫しながら管理を行い、資料廃棄規程に基づき除籍した書籍については、ブックフェアの際に希望者や各児童館へ提供する運用を行っている。





町立温水プールの受付カウンターに防犯カメラの設置を

今澤議員　町立温水プール混雑時などは、受付カウンターで職員に対して暴言を吐く利用者がいる。また、職員が利用の仕方を注意しても聞き入れない利用者もいると聞いている。受付カウンターに防犯カメラを是非、設置してほしいとの要望がある。カスタマーハラスメント条例も整ってくるが担当課はどのような考えか。

花形生涯学習課長　防犯カメラの設置については検討する方向で進める。具体的な対応や実施は総務課と連携して進める必要がある。



子育て支援センターの用地買収

海野委員　長期借入で用地を購入する代わりに、すでに昭和町が保有している基金を取り崩して購入資金に充てることはできないのか。借入を行うと利子負担が発生するため、将来の利子負担を避けるためにも手元の基金を活用すべきではないか。

望月情報施設課長　基金を利用するかどうかは財政担当と相談した結果、今回の案件では用地購入費に対して公債費を充てる方が適切だと判断した。

防災訓練の高校生参加を

植竹委員　地区防災訓練で、中学生が積極的に参加し地域防災活動に好影響を与えた一方、高校生は不参加であった。参加を促す仕組み（例えば高校生防災サポーターの役割設定、参加証明の発行、ボランティアとして評価する仕組み）を町として構築してはどうか。

今村企画財政課長　学校ごとに事情が異なるため、町として高校生にボランティア参加を強制するのは難しい。高校生団体等からの地域貢献の要望があれば区と協議の上で対応を検討できる。安全管理・責任ルールの準備が前提となる。



本町提携保養所の利用助成額の見直しを

今澤議員　物価高騰に伴い、現行の助成額では制度の利用促進効果が十分に発揮されていないのではないかという意見がある。多額の予算を必要とするものではなく、町民に対してのことなので喜ばれることだと思う。議会で一般質問したが、その後、具体的な検討を進めているのか。また、どのような調査を行ったのか。

三井総務課長　保養所の助成金の具体的な金額についてはこの場で示すことはできない。現在、行財政改革大綱の見直し作業を進めており、助成金の具体的な額や助成制度の詳細についての議論にはまだ至っていない。見直しを進める過程で助成金の方向性も含めて検討していきたいと考えている。

（委員：対象委員会所属議員　議員：傍聴議員）

令和7年度歳入歳出決算を認定！

令和7年度一般会計決算と国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険・介護サービスの各特別会計決算及び下水道事業決算に関し、7月21日から8月6日までのうち11日間で、小林一(こばやしはじめ)代表監査委員と小林耐三（こばやしたいぞう）監査委員による歳入歳出決算審査を行い、9月定例会において、代表監査委員から、各決算ともに適法かつ適正に処理されているとの報告がありました。

以下、監査委員からの指摘事項を要約しています。

成果評価	事務事業は総じて順調な成果を収めていると認められた。
経常収支比率	84.9％と令和6年度の86.8％から1.9ポイント減少しているが、適正水準を超えているため、引き続き、適正水準維持への努力が求められる。
歳入状況	町税全体では、令和6年度より約2億16万円の収入増。償却資産の減収が大きいが、個人町民税及び法人町民税ともに増収が顕著であり、ふるさと納税でも大きな増収となっている。機構改革が大きな要因となっていると思われる。
収入未済額	一般会計は減少しているが、特別会計は増加している。引き続き収入未済額の事務処理については、適切な対応を行ってほしい。
不納欠損処理額	公平公正の面からも、法令の規定に基づき、適正に手段を尽くされるよう要望するとともに、消滅する債権については、経過を詳細に記録した資料をもとに決裁を受け、適切に処理を行うようお願いする。
歳出の効率化	効率的な執行に努めるとともに、補助金に関しては、担当課において実績報告書や証票書類等に関し精査を行い、適切な補助事業の執行とともに、その必要性や再編成についても検討してほしい。
事業の進捗	労務単価が増加傾向にあるため、適正な積算を行うとともに、専門的な知識を有する職員の育成にも努めてほしい。事業執行にあたっては、費用対効果を十分に検証してほしい。
下水道事業	公営企業会計は、専門的知識が必要となってくるため、複式簿記や発生主義に関する理解を深め、事務執行に誤りの無いよう努めてほしい。
教育委員会	職員室の環境について引き続き検討が必要。また、老朽化に伴う小中学校の空調設備の改善が必要と思われる。
公共施設の再編	可及的速やかな対応と、再編案の策定にあたっては、国・県の補助金等を有効に活用するようお願いする。

総括的には、適正なる行政運営が行われているが、歳出面では、社会保障費の増加や福祉施設の整備をはじめとする公共施設の再編に伴う施設整備費など、新たな行政需要がでてきている。このため、今後、厳しい財政運営が予想されるが、町民福祉の維持向上に取り組みながら、適正な事務量の配分となるよう行政改革を推進し、効率的・効果的な行財政運営及び健全な財政の維持に努められることを期待する。


小林　一　代表監査委員


小林 耐三 監査委員

決　算　審　査

決算概要説明書（決算シート）による審査に変更

令和７年度分の決算から、決算審査に使用する資料が決算概要説明書（決算シート）に変更になりました。

これにより、事業の成果、予算の執行状況、課題が明確になりました。



議会事務局

成　果

- 「昭和町議会における生成AI活用ガイドライン」策定
- 議会だよりの208号より町広報に合わせ、縦書きから横書きに対応のため右とじから左とじにし、町民にわかりやすく伝えるように変更

今後の取組と課題

- 議会改革をはじめ、社会情勢の変化に合わせた仕組みを実施し、議会の役割を果たしていく

税務課

成　果

- 税負担の公平性を確保する為、滞納分に伴う徴収等を実施

今後の取組と課題

- 税の啓発に努め、納税に対する理解と意識向上を図り、今後も各種資料等に基づき、適正かつ公平な賦課に努める

企画財政課

成　果

- 常永駅利便性向上のため駐輪場整備（R８．３月供用開始）
- **消防団家族等ねぎらい事業の創設**
- 災害時トイレ環境の強化のため自動パック式トイレの購入、各区配布
- 区加入促進のためパンフレット制作と全戸配布
- 自転車青切符制度の導入に伴い、周知と街頭指導

今後の取組と課題

- 交通安全協会・各区・通学路点検からの要望に基づいた安全対策への取組

総務課

成　果

- **職員が安心して働くことが出来る職場環境の整備のため「昭和町長及び職員のハラスメントの防止等に関する条例」制定**
- **「高齢者移動手段確保事業」の実証実験の実施**

今後の取組と課題

- 依然として物価高騰が家計を圧迫している状況を踏まえて町民が安心して生活が送れるよう迅速かつ効果的な物価高騰対策を引き続き検討していく

町民窓口課

成　果

- 窓口における町民の利便性向上の為各種手数料のキャッシュレス決済の導入

今後の取組と課題

- 書かない窓口・キャッシュレス決済推進し、町民の利便性向上に向け取組む
- 引き続きいきいき健康課・厚生連と連携し、生活習慣病による重症化予防、高齢者の健康維持のため後期高齢者特定検診の受診に向け取組む

都市整備課

成　果

- 木造住宅耐震診断事業の実施にて家屋・ブロック塀の改善・倒壊対策補助金の交付
- 公園・町道街路樹、緑地帯管理により景観形成等の維持を行った
- 所有者不明土地建物の解消

今後の取組と課題

- 近年大規模地震が想定される中、耐震改修の重要性や補助制度の周知を行い、耐震化対策の推進を図る
- 施設の老朽化、経年劣化に伴う修繕について年次計画により取組む

ふるさと納税推進課

成　果

- **効果的な広告事業を行うなど、積極的に取り組みを推進し、寄附額が過去最高となる（7億7088万円）**
- **新たにネーミングライツ制度の創設、押原公園の募集の開始**

情報施設課

成　果

- 中央公民館解体工事及び倉庫移設工事の実施

今後の取組と課題

- 子育て支援センター整備事業に関して、子育て支援課と共同でより良い整備に向けて取組む

いきいき健康課

成　果

- 子育て短期支援事業にて7月よりショートステイ里親の実施
- 歯周疾患検診の対象年齢を若い世代に拡大実施
- 妊婦のための支援給付の現金給付を適切に実施

今後の取組と課題

- 妊娠中から産後の母親、子供への切れ目ない支援を行っている。また、個々の課題が複雑化、多様化しているため他機関との連携や家族全体の支援が必要となっている。
- 特定健診・がん検診の結果フォローを根気よく行うよう取組む

福祉介護課

成　果

- 加齢性難聴者補聴器購入費補助制度の実施

今後の取組と課題

- 民生委員児童委員のなり手不足の解消のための施策に取組む
- 温泉施設等をはじめとする施設・機材の老朽化に伴う大規模改修の検討
- エネルギー価格、物価高騰における低所得世帯への生活費支出増加による生活維持への対応について取組む

子育て支援課

成　果

- 子育て支援センター建設に向け、建設委員会の立ち上げ、基本計画の策定

今後の取組と課題

- 子育て支援センター整備に向けた実施設計の迅速化に努める
- 旧鮎川邸のファミリーサポート事業に対する課題へ取組む

建設課

成　果

- **昭和玉穂中央通り線道路新設事業の進捗率約54％、用地取得率86％となる**
- **町道124号線道路改良事業の進捗率全体事業の約62％ 町単独用地取得100％となり県道関連の事業用地を含むと全体の86％となる**

今後の取組と課題

- 昭和玉穂中央通り線道路新設事業は当初計画より若干遅れているが令和8年度に用地買収100％を目指す
- 町道124号線道路改良事業は令和8年度に完成、令和9年度に共用開始を目指す

学校教育課

成　果

- 教育支援センターを町単独設置し、町内児童生徒の環境整備を行う
- **押原・西条小学校の体育館照明LED照明化することで消費電力削減が図れた**

今後の取組と課題

- **町内3小学校の体育館の空調設備の導入について推進する**
- 施設の老朽化、経年劣化に伴う修繕について年次計画により取組む

環境経済課

成　果

- 生ごみ処理機の商品購入補助金支給に伴い生ごみ量・水分を含んだゴミの減少につながる
- 補償井戸の修繕を行い、ポンプの出力を抑えることにより今後の使用電気料削減
- 再配達削減推進事業費補助金（宅配ボックス補助金）を交付

今後の取組と課題

- 資源物回収等の啓発、リサイクルに努め、ゴミの減量化に取組む
- 引き続き農業用資材物価高騰対策補助金、農業振興地域農地保全助成金等の交付を行い農業者の支援に取組む

生涯学習課

成　果

- **図書館の開館35周年に合わせて昭和町出身者の声優を講師に招き文化講演の開催**
- 杉浦醫院の整備計画等の検討を行い、今後の改修に向けた町の方針を決めた

今後の取組と課題

- 施設の有効活用のため釜無工業団地公園管理棟の改修の検討
- **温水プールのランニングコストの抑制を図る為指定管理制度の導入の推進**

下水道課

成　果

- 下水道施設の機能維持と向上に努めた

今後の取組と課題

- 老朽化や更新需要を踏まえ、計画的な施設整備、及び更新を推進する

追跡 あの質問はどうなった？

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。（一部実施）

追跡No.1 児童館の開館時間について

令和8年6月議会 一般質問 今澤議員・井口議員

Q 児童センターの開館時間の前倒しや放課後児童クラブの運営時間の延長を望む声が寄せられているが、子育て支援策としての今後の対応を問う。

A 児童館職員の人数や勤務体系などを鑑みて、子育て支援に関する新たな課題についても検討する。

▼こうなった▼

児童館の開館時間を30分早めることで利用者ニーズへの対応を図り、利便性が向上した。

追跡No.2 「書かない窓口」の導入について

令和5年12月定例会 永井議員

Q 業務の効率化とサービス向上のため、来庁者が各種申請を行う際に、職員が聞き取りを行う「書かない窓口」を導入したらどうか。

A 課題の洗い出しや先進事例を調査・研究し、本町に適した「書かない窓口」の導入を検討する。

▼こうなった▼

令和６年11月に導入し、利用者を対象としたアンケートでは好評を得ている。



「議会だより しょうわ」を読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関してのアンケートへご協力をいただいています。今回は、「議会だより しょうわNo.210について、議会モニターのみなさんから頂いた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわNo.210について、こんな意見をいただきました。（要約掲載）

生成AI活用について

- 議会の「AI」に対する認識が分かりましたので今後も継続して「AI」の取り組み方を学び研究を行ってください。
- AIが普段の生活において欠かせないものとなりつつある中、町の方でも勉強会等を行うなど素晴らしい活動だと感じた。子どもを持つ親としては、子どもたちが全てを鵜呑みにして、間違ったことに活用してしまうのが一番の気がかりである。

一般質問について

- 植竹議員、保坂議員が災害・防災に関する質問されたことは8月号広報のトップ記事と関連して良いタイミングでした。
- 防災計画の町民への参加を図っていくことは重要だと感じた。
- 一般質問の内容を動画配信などしても需要があると思われる。

議会トピックス

- 町民温水プールについて健康意識が高まる昨今、ジュニアからシニアまで健康づくりに適した施設だと思う。

その他

- QRコードによる会議録で再質問に対する担当課長の現場実務者の具体的な回答も載せてほしい。
- コミュニティバス実証実験について、4つのルートを1台のバスで実証するには時間がかかりすぎてしまうのではないか。

議会クイズ

次の問いに答えてください。

Q こども議員は何人でしょう？



ヒント No.211（この号）を読んでください

正解者の中から抽選で５名の方に図書カードをお送りいたします。

No.210に対する こんなご意見をいただきました！

生成AIの活用に積極的であることを知り、感心させられました。私も勤め先で活用するようになり、大変便利ですが使う側の知識も求められるツールですので、是非慎重な運用をお願いします。

（51歳・男性）

議会だよりは、カラーで要所要所にイラストがあり、とても読みやすく楽しく読ませていただいています。しかし、最後の方にある議会クイズを知らない方が多いのではないでしょうか。表紙に大きめに「議会クイズあります」などとお知らせすることで最後までしっかり読んでくださる方が増えるのではと思います。

（67歳・女性）

これからの時代、生成AIとの関わりは必要になってくるものだと思います。そのような中で、行政として今後どのように活用していき、町民のために何ができるか期待しています。

（32歳・男性）

町立温水プールの今後が気になりました。

（37歳・女性）

政策を問うというページで「自歩道の指定要望を問う」について関心を持ちました。子どもが「通学路で、歩道に車がはみ出してくるのが怖い」と言っていました。場所によっては路肩部分を色分けしている通学路もあるかと思いますので、運転者にも歩行者にも分かりやすい環境整備が実現したらいいなと思いました。

（37歳・男性）

「こんなご意見いただきました!」のページが好きです。1冊の議会だよりの中より、読者が多方面な角度から、意見が出てくることが素晴らしいです。共感したり、勉強になる意見があったりで良い刺激になります。

（48歳・男性）

コミュニティバスの実証実験が施行されているとのこと。道交法改正でレベル4も可能となり、先進的な自治体では運行されているそうです。こうした成功例が各地の自治体に広がれば、利便性の向上に繋がると思いますし期待したいです。

（37歳・男性）

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただいています。

【応募方法】

①クイズの答え ②住所 ③氏名（ふりがな）
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想
を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

No.210のクイズの答え nanahoユナイテッドパーク押原

【あて先】

●〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール
gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

《しめきり》11月末日 消印有効



アドレス読み取り

議会だより
しょうわ
No.211
2026.10.20



Vol.74 昭和町に住んでみて

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



上河東区

伊藤（いとう）　真咲（まさき）さん

昭和町は山間地域がなく、インフラも整備されており、商業施設や医療、教育環境も充実しています。そのため、不便さを感じることのない住みよい町であることを、今回改めて実感しました。

昭和町に住み始めた頃には、地域の皆さんから温かく迎えていただき、一緒にさまざまな地域行事やイベントに参加し楽しめる仲間に恵まれたことに感謝しています。

生活支援の面では、住民主体の支え合い活動に取り組む有志の方々が活躍されていると伺っています。町民同士のふれあいと助け合いに満ちた、温かな町だと感じています。

近年は住宅地の整備が進み、活気あふれる町となっていますが、町のキャッチフレーズにもある「緑」を、さらに有効に活用していただきたいと思っています。

これからも、緑豊かでゆとりのある住環境を整えることで、子どもたちが大人になっても住み続けたいと思える町であり続けることを願っています。



西条二区

佐野（さの）　功名（こうめい）さん

私が昭和町に移り住んだのは今から約半世紀前でした。 大学を卒業し就職する機会に以前から父親と一緒に幾つかの候補地を見学しておりました。その中で最も条件に合った場所が現住の西条地区でした。当時はまだ人口は九千人未満の小さな町でのどかな田園地帯が広がり商工業は甲府市に集中していました。その後・高速道路の開通や工業団地の開業、更に大型商業施設の開業など昭和町は目覚ましい勢いで発展してきました。現在の恵まれた環境を築いて来られた諸先輩の皆様には感謝の念で一杯です。

私は現在、長年勤めた会社を定年退職し高齢者の仲間入りとなりました。この半世紀を振り返り後悔する事は、会社勤めをしている期間に地元自治会や町の行事に参加出来なかった事です。もっと早く皆さんと知り合いになっていたら私の人生はもっと巾の広い充実したものになっていた事でしょう。今は余暇を活用し、自治会活動や趣味のゴルフ、カラオケ、山歩き、畑仕事など、シニアライフを満喫しています。

昭和町に移住して来た皆さんは、若いうちから地域の仲間に溶け込み人脈を広げて下さい。きっと充実した楽しい世界が開けます。

編集後記

錦秋の候、木々の彩りに秋の深まりを感じる季節となりました。今号の特集では、7月に本議会初の取組として開催した「こども議会」の様子をお伝えします。児童・生徒たちが町の課題を見つめるまなざしの確かさに、私たち議員も襟を正す思いでした。

また、今年度より誌面をフルカラーに一新しております。よりよい紙面への模索は、これからも続きます。皆様の声を励みに、より親しみやすい紙面へと工夫を重ねてまいります。ぜひご一読ください。（井口）

広報編集常任委員　野沢敬夫・保坂貴子・今村　力
植竹由美・永井敏男・井口　正

議会だよりに写真を載せてみませんか？



身近な行事等の写真を、キャプションをつけてメールでお寄せください。採用された方には、わずかばかりですがお礼を差し上げます。※写真に写っている方の肖像権等にはご配慮願います。

送付先：gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp

議会を傍聴しませんか？



次回定例会は
12月4日（金）開催予定です

本会議・一般質問 12月4日
委員会……12月7日～

【お問い合わせ】☎275-8842（議会事務局）

■発行人
議長 海野　豊
■編　集
広報編集常任委員会
印刷 株式会社島田プロセス
■発　行
山梨県昭和町議会
〒409-3880
山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2
TEL.055-275-8842（直通）
TEL.055-275-2111（代）
FAX.055-275-0370
昭和町議会HP